

# 《令和元年度事業報告》

公益財団法人 切農支援会

## I 総括

切農支援会は、平成 26 年に一般財団法人として設立し、平成 28 年 4 月に「公益財団法人」に移行をし、農業の担い手となる人材の育成・確保並びに就農活動、農業活動に対する支援を通じて、農業に関するノウハウと経営手法を伝授し農業の振興と健全な発展の寄与に努めてきた。

令和元年度は、農業研修事業として、新規就農者に対する勉強会や実践研修を通して次世代型農業経営者を育成支援していくことを目的とした新規就農者向け研修プログラムを実施した。また、当財団の資金力を生かし、研修生への生活支援をするための研修助成金の給付を行った。

さらに、研修生の募集については、新・農業人フェアへの出展や行政機関との連携等を通して、新規就農者向け研修プログラムを紹介し、全国から研修生の確保に努めた。その他、新たに Facebook 開設やホームページを通じて当財団の活動内容に関する情報発信を積極的に行った。

## II 公益目的事業

### 1. 農業研修事業

次世代型農業経営者を育成するため、就農希望の研修生を募集し下記のとおり研修プログラムを実施した。

#### (1) 研修生の募集

##### ① 募集期間

第 1 期生：平成 31 年 4 月～令和元年 8 月

第 2 期生：令和 2 年 1 月～令和 2 年 3 月

##### ② 募集人数：定員 10 名程度

ア) 基礎研修コース 1 名

イ) 経営者育成研修コース 3 名（コース変更含）

##### ③ 募集方法

ア) ホームページによる公募

問合せ：8 件

イ) 農業塾等を開催

| 内容・テーマ等                                    | 開催日・講師                                               | 参加者 |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----|
| 功農塾                                        | 令和元年8月30日(金)<br>多田農園農場長 多田剛氏<br>フォレストイ ルーツ-農園 根木宏太郎氏 | 19名 |
| 功農支援会 農業塾<br>テーマ:「新規就農するにあ<br>たっての取組みと心構え」 | 令和元年10月17日(木)<br>飯田農園 代表 飯田実氏                        | 18名 |

ウ) 新・農業人フェア等への出展

| 出展先               | 開催日・開催場所                    | 面談数 |
|-------------------|-----------------------------|-----|
| 農林漁業就職フェア         | 令和元年10月4日(金)<br>あい☆ミワーク     | 2名  |
| 新・農業人フェア大阪        | 令和元年11月16日(土)<br>ハービスホール大阪  | 5名  |
| マイナビ就農FEST(名古屋会場) | 令和元年12月22日(日)<br>ウインクあいち    | 12名 |
| 新・農業人フェア東京        | 令和2年1月25日(土)<br>池袋サンシャインシティ | 11名 |

エ) 行政機関(愛知県・田原市)との連携による募集

オ) 豊橋創造大学、豊橋技術科学大学への募集

(2) 研修生の選考

研修生を募集し、基礎研修コースに1名の応募があり面接を行った。選考の結果、基礎研修コースで1名研修生を採用した。また、2名が基礎研修コースを修了し、経営者育成研修コースにコース変更した。1名が経営者育成研修コースを再開した。

① 基礎研修コース

- ・令和2年3月4日(水) 研修候補者選考(トマト)

② 経営者育成研修コース

- ・令和元年5月17日(金) 研修候補者選考(キク)
- ・令和元年6月26日(水) 研修候補者選考(トマト)
- ・令和2年3月23日(月) 研修候補者選考(トマト)

### (3) 研修内容

#### ① 基礎研修コース

下記内容の基礎の研修を実施した。

##### 【基礎の研修内容】(1年)

- トマト等施設栽培研修：収穫・出荷・葉かき（病気・カビを防ぐために古くなった下葉を取り除く作業）等、栽培実習を行う。
- ハウス設備、栽培システム等の操作方法や簡単なメンテナンス方法を学ぶ。
- 生産物販売研修<sup>※1</sup>：生産物の流通販売経路を理解し、情報収集の方法、消費者動向の分析等を学びながら収穫物の販売を行う。
- 家族経営農業実践研修：種苗、農耕機械等、農業に必要な物資の調達方法を学び、農業の生産計画をたて実行する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて、労務管理等を学ぶ。
- 勉強会<sup>※2※3※4</sup>：土壌、病虫害防除、施肥管理、環境管理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回<sup>※2</sup>：圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会<sup>※2</sup>：圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

#### ② 経営者育成研修コース

下記内容の応用の研修を実施した。

##### 【応用の研修内容】(1年)

- 研修農場管理：栽培から経営まで自ら行いながら農業経営を習得するために、温室1棟を研修生が各自で管理する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて労務管理の他、出荷管理、経営管理を中心に学ぶ。
- 短期研修：他品目での短期研修を行う。
- 勉強会<sup>※2※3※4</sup>：就農手続き・マーケティング・経理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回<sup>※2</sup>：圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会<sup>※2</sup>：圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

※<sup>1</sup> 生産物販売研修 実績：25,117,110円

※<sup>2</sup> 勉強会・圃場巡回・定例会

下記の通り勉強会・圃場巡回・定例会を実施した。

- ・勉強会 : 4回
- ・圃場巡回 : 24回
- ・定例会 : 24回

※<sup>3</sup> 実践的 e-ラーニングの開発

新規就農に向けて栽培技術・農業経営手法等が学べる e-ラーニングプログラムを開発するため、豊橋技術科学大学と共同研究を行った。

※豊橋技術科学大学が開講する「IT食農先導士養成プログラム」の教室講義は希望者

がいなかったため受講はしていない。

(4) 栽培品目

下記の通り大玉トマト、葉ネギ、切り花を栽培した。

- ・大玉トマト・・・7月栽培終了、7月中旬・8月下旬定植
- ・葉ネギ・・・周年栽培
- ・切り花（キク）・・・提携農場 イノチオ農芸(株)にて周年栽培

(5) 研修助成金の支給

下記のコースにより、それぞれ研修助成金を支給した。

合 計：6,602,195 円 （※日割計算、時短研修による助成金減額あり）

内 容：基礎研修コース 月額 12 万円×5 名

経営者育成研修コース 月額 15 万円×3 名

### Ⅲ 法人事業

1. 理事会の開催

| 内容             | 日時               | 主要議案                                      |
|----------------|------------------|-------------------------------------------|
| 理事会<br>(決議の省略) | 令和元年<br>6月15日(土) | ・平成30年度に係る計算書類及び事業報告の承認<br>・任期満了に伴う理事選任の件 |
| 臨時理事会          | 6月29日(土)         | ・代表理事選定の件                                 |
| 理事会            | 令和2年<br>3月21日(土) | ・令和2年度事業計画、収支予算の承認                        |

2. 評議員会の開催

| 内容     | 日時               | 主要議案                                      |
|--------|------------------|-------------------------------------------|
| 定時評議員会 | 令和元年<br>6月29日(土) | ・平成30年度に係る計算書類及び事業報告の承認<br>・任期満了に伴う理事選任の件 |

3. 農業次世代人材投資事業（準備型）の申請支援

制度変更に伴い研修機関の認定は取り消しとなる。申請希望者がいないため申請支援はしていない。

4. 情報公開

ホームページやFacebook等を通して、当財団の活動内容および実績並びに研修に関する情報の公開を行い、当財団の認知と事業内容の周知に努めた。